

## 令和6年2月1日 佐田岬亀ヶ池温泉グランドオープン



### 目次 -Contents-

- P 2 12月定例会の動き
- P 3 一般質問
- P 6 研修レポート
- P 7 委員会(協議会)報告
- P 7 議長の動き

第75回定例会が開催され、報告2件、条例13件、補正予算5件、その他8件は、いずれも原案のとおり認定・可決・同意されました。

## 【主な決定事項】

### 報 告

#### 町長の専決処分事項報告

議決が必要な事項のうち、軽易な事項は予め町長の権利で執行し、事項の施行結果を報告。公用車の事故及び車両損傷事故を報告。

### 条 例

#### 伊方町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴う一部改正。

#### 伊方町地域振興センター条例の一部を改正する条例制定

伊方町地域振興センター内に障害児通所支援施設を設置による一部改正。

#### 伊方町議会議員の議員報酬及び期末手当並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定

人事院勧告及び愛媛県の特別職に準拠するための一部改正。

#### 伊方町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

人事院勧告及び愛媛県の特別職に準拠するための一部改正。

#### 伊方町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

人事院勧告及び愛媛県の特別職に準拠するための一部改正。

#### 伊方町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定

人事院勧告及び愛媛県の特別職に準拠するための一部改正。

#### 伊方町税条例の一部を改正する条例制定

空き家の除却に係る土地の固定資産税減免に関する規則を制定するため、一部改正し固定資産税の減免規定を整備。

#### 伊方町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

全世代対応型の持続可能な社旗保証制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の公布に伴う一部改正。

#### 伊方町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

国の子ども・子育て支援交付金の対象となる放課後児童健全育成事業の内容について定める通知が一部改正されたことに伴う一部改正。

#### 伊方町温泉施設条例の一部を改正する条例制定について

伊方町健康交流施設亀ヶ池温泉の整備に伴う一部改正。

#### こども家庭庁設置法、こども家庭庁設置法の施行に伴う関係整備に関する法律及びこども基本法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定

こども家庭庁設置法、こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律及びこども基本法の施行に伴い、伊方町家庭的保育事業との設備及び運営に関する基準を定める条例、伊方町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例、伊方町子ども・子育て会議条例の一部改正。

#### 伊方町下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例制定

伊方町下水道事業の地方公営企業法適用に伴い、伊方町情報公開条例、伊方町職員定数条例、伊方町戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例、伊方町戸別合併処理浄化槽整備事業分担金徴収条例、伊方町下水道条例、伊方町小規模下水道条例、伊方町水道事業の設置等に関する条例、伊方町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例、伊方町水道事業の剰余金の処分等に関する条例、伊方町水道事業給水条例の一部改正及び伊方町小規模下水道事業特別会計条例、伊方町公共下水道事業特別会計条例、伊方町特定地域生活排水処理事業特別会計条例の廃止。

#### 伊方町電気自動車等用充電器設置条例制定

町施設において電気自動車等用充電器を整備するための条例制定。

### 補正予算

(単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補 正 後
一般会計補正予算 (第6号)	△84,208	11,979,888
国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) 事業勘定	49,596	1,809,798
直営診療施設勘定	6,323	440,450
後期高齢者医療保険特別会計補正予算 (第2号)	△3,505	182,098
介護保険特別会計補正予算 (第2号) 保険事業勘定	△24,756	1,402,836
介護サービス事業勘定	△1,688	15,350
水道事業会計 (第1号)	9,208	400,266

## その他

### 瀬戸在宅高齢者共同生活施設指定管理者の再指定

指定管理施設の業務の範囲が大幅に変更となることに伴う、指定管理者の再指定。

施設の名称 瀬戸在宅高齢者共同生活支援施設 施設の所在地 大久1391番地1

指定管理者 株式会社悠遊社 再指定期間 令和6年4月1日～令和9年3月31日

### 愛媛県市町総合事務組合同規約の変更

愛媛県市町総合事務組合の構成団体である大洲市を、共同処理事務構成団体から脱退させることに伴う、愛媛県市町総合事務組合同規約の改正。

### 愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体からの脱退に伴う財産処分

愛媛県市町総合事務組合の構成団体である大洲市が、共同処理事務構成団体から脱退させることに伴う、愛媛県市町総合事務組合の財産処分について、所要の手続きをする必要がある。

### 議会運営委員会の閉会中の継続調査

原子力発電対策特別委員会の閉会中の継続調査

### 議会改革特別委員会の閉会中の継続調査

公共施設環境改善対策特別委員会の閉会中の継続調査

### 観光事業対策特別委員会の閉会中の継続調査

## 一般質問



末光勝幸議員

質問の全文はQRコードを読み込んで確認できます。



### 大綱1 集落のグループホーム化とデジタル化について

#### 問

町では「集落のグループホーム化」

による町民の利便性と暮らしやすさ

の施策を展開しており、顔認証、遠隔地医療、新しい交通体系など、過去二年余りで県外の民間企業に観光事業を含め約八千万円もの業務委託をしている。

その間にも過疎化、少子高齢化は続いており、町の十一月末の人口は八千七十七人にまで減少した。町民の半数を占める高齢者の方々の声を伺うと「顔認証やデジタル化よりも、月に一日でもいいから八幡浜市の病院を往復するバスがあれば有難い」など、日常生活の不便さの解消を望む声が多い。町が推進するデジタル化とは程遠いアナログ的な要望が多いのも事実。

集落のグループホーム化とデジタル化の成果と効果をどのように町民に還元していくのか。

#### 答

令和三年度に民間企業と連携しデジタル技術を活用しながら、健康管理、オンライン診療、孤食解消のための共食、買い物支援、ハイブリッド交通の五つの分野で実証実験を重ね、集落のグループホーム化に向けた「高齢者福祉のIKATAモデル」構築に取り組んできた。

さらに顔認証技術を活用し住民の健康・医療等に関するデータを収集・蓄積することにより、災害時の避難所円滑化や生活支援に役立てるとともに、データ分析を通じて、暮らし・福祉・産業などの分野で、町の施策に活かしていくこととしている。

約八千万円の業務委託については、「集落のグループホーム化」の経費が約五千七百万円、「地域DMO推進プロジェクト」の経費が約一千六百万円となっている。

「成果と効果の町民への還元」については、今年度で五つの分野ごとに、実装マニュアルや運用計画などを盛り込んだ「IKATAモデル」の構築を完了するとともに、顔認証技術を使ったDX基盤も完成させることとしている。今後は血管年齢測定や健康体操、共食について、町

## 一般質問

民に幅広く呼びかけ町内全域への迅速な普及を図るとともに、オンライン診療の推進、巡回バスとデマンド交通等を組み合わせた交通体系の確立、顔認証による買い物支援など、更なる住民の利便性向上を図ることにより、その効果を町民が実感できるように積極的に取り組んでまいりたい。

また町内での起業・創業や新規雇用の創出を図るとともに、「IKATAモデル」の全国展開を通じて、町の認知度向上や持続可能な発展にもつなげていくこととしている。

今後とも、デジタル技術や自動運転などの技術革新等の動向を注視し、費用対効果の検証もしっかりと行いながら必要に応じて改良・改善を重ね、高齢者福祉及び住民サービスの一層の向上を図ることにより、地域住民が生き生きと自分らしく暮らすことのできるまちづくりをスピード感を持って計画的に推進してまいりたい。

(町長)



田村 義孝 議員

質問の全文はQRコードを読み込んで、確認できます。



### 大綱1 物価高騰対策について

#### 問

コロナが少しずつ落ち着いてきたが、円安や世界での紛争の影響を受け、賃金アップを伴わないインフレ、いわゆるコストプッシュインフレにより諸物価が高騰して町民生活を困らせている。伊方町は県下で二番目の高齢化率で年金暮らしの方も多く、収入は変わらないのに、物価の高騰により買えるものが少なくなってきたというのが現状。

町として機動的かつ継続的な生活支援が必要な局面だと認識している。

このような現状を、町長はどのように捉えているか、また今後どのような施策を展開されるのか。

#### 答

物価高騰等により町民の生活や地域経済を取り巻く環境は厳しさが増しており、その影響を受ける生活者や事業者に対し、地域の実情に合わせた支援を、必要に応じて迅速に行うことは極めて重要であると認識している。

今年度から給食費の半額補助のほか

低迷する町内の消費活動を喚起し地域経済の活性化を図るため、プレミアム商品券事業を行っている。

また引き続き国が補助する配合飼料や漁業燃油価格の高騰による価格上昇分の一部支援を実施するとともに、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の負担軽減のため、住民税非課税世帯や低所得世帯に対し、今年夏以来の三万円の支給と合わせて合計十万円となる、一世帯当たり七万円の給付金を予算計上し、二月末までに支給できるよう準備を進める。

今後も、物価高騰の先行きは不透明な状況にあることから、町民の生活や地域経済への影響をできる限り軽減するため国や県の動向を踏まえながら、必要な支援策については時機を失することなく積極的に講じることにより地域の暮らしを守り、経済の活性化を図ってまいりたい。

(町長)



加藤 智明 議員

質問の全文はQRコードを読み込んで、確認できます。



## 大綱1 みかんアルバイトを受け入れるための環境づくりについて

**問** 農家の労働者負担軽減を図るうえで、貴重な存在となるのがみかんアルバイトの存在である。

昨年、町内では三崎地区十七名、町見地区十四名、大久地区四名、伊方地区四名の三十九名が参加されたと聞いている。

これに対して、アルバイトが宿泊できる施設は三崎地区で一カ所九名、町見地区で二カ所の十四名、大久、伊方地区では一カ所ずつの各四名の宿泊可能施設があるものの、それでも足りていないと感じる。

町営住宅や空き家バンクに登録された家屋等を利用できないのか。また、今後みかんアルバイトを必要とする農家が増えることが予想されるなか、今後の対応策とアルバイトを雇う農家への支援について伺う。

## 答

町営住宅については、公営住宅法や特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律等に基づき整備したものと、町の公共賃貸住宅条例に基づいて整備したものがあつる。このうち、法律に基づき整備した住宅は、法により入居条件が定められており、みかんアルバイトのような短期アルバイトの利用は認められていない。一方、町の条例に基づき整備した公共賃貸住宅については、利用は可能だが、現在のところ入居率が常に高く、利用できる物件が限られている状況。

空き家バンクについては、現在八件の家屋登録があり、希望があれば、物件の所有者との調整し必要な手続きを行った上で利用することは可能。

さらに町の短期宿泊施設である二名津体験住宅や亀ヶ池物語のほか、加周保育所をアルバイトの宿泊施設に改修した事例と同様に、民間提案により町有施設を宿泊施設として活用することも可能。

今後の対応策については、アルバイトの宿泊施設は、基本的に受け入れる農家が確保するものと認識しているが、町では町有施設の活用や空き家バンクの登録などを推進しており、町の施策を最大限に利用できるよう、農家への一層の呼

びかけや必要な支援を積極的に行ってまいりたい。

農家への支援については、各地区の雇用促進協議会が、宿泊施設の改修や生活に必要な備品を購入した場合に、その経費に対して補助する制度や、雇用に対する支援を行うとともに、都市部での新規就業者向けのフェアに積極的に参加し農業・漁業を問わず、担い手及び後継者の確保に努めている。

今後も、みかんアルバイトの受入れに必要な支援に積極的に取り組み、基幹産業である柑橘産業の労働力の確保と更なる活性化を図ってまいりたい。(町長)



福島大朝 議員

コロナ明け四年ぶりの議会研修は長野県松本市南箕輪村に行ってきました。

初めに藤城村長が挨拶いただきました。経歴は地域おこし隊で六年前に村に来て村長になった。この村はまだ若い村ですと言っておられました。管理職七割が女性で

地域づくり推進課長も女性の方で働くのが楽しい風通しが良く誰もが発言でき職員のコミュニケーションがいいと述べられ、羨ましく思ったのは私だけではないと思いました。

南箕輪村は七割が定住者、人口が増えていると聞き人口減少に悩んでいる伊方町に取り入れる事があるのではと期待してまいりました。南箕輪の人口は一万六千人ちょうど伊方町の2倍の規模で町が平野でコンパクトにまとまっている感じがしました。

我が町は細長く平野がなく集落が点在しているため維持管理が大きく違い予算の使い方も違いがあると思いました。一般会計予算は八十億、伊方町は百十億余りだから見劣りはしない。使い方が大きく異なる気がいたします。

一、人口増加対策については、増加の要因は土地が安い隣町で働くところがありベトナムの役割がある、地理的な条件がいい高速道路があり便利。余り苦労されていない感じでした。

二、子育て支援対策、保育料三歳以上無料、伊方町と比べてもあまり子育て支援は違いがなかった。福祉医療もあまり変わりありませんでした。子育て関連施設では保育園から小、中、高、短、大学院まであるのは子育てにはいい環境だと思いました。

三、高齢者、障害者支援策、福祉移送サービス、福祉タクシー生活サポートいろいろあるが伊方町もそれ以上支援施策が整っている感じがします。南箕輪村に人が集まる要因はSNS口コミが広がる、保育料が安い、土地が安い、自然が豊か、子育てが充実、子供を育てるのは南箕輪村がいいよ、情報が広がり自然と外部から人が集まっている感じがしました。

その人たちを受け入れる地元の人達も今は移住者だから地域摩擦も少ないと説明いただき良い勉強をさせていただきました。二泊三日の視察旅行でしたが実りのある視察でした。少しでも人口減少のスピードを緩めることができるよう理事者に提案していきたいと思



山本吉昭 議員

十月三十日から二泊三日で長野県南箕輪村そして国会議事堂の研修に行ってきました。初日は移動日で、松山空港から羽田空港その後バスに揺られて、約3時間、宿泊地の松本市へ。

翌日、研修目的地の南箕輪村役場へ。

原議長様、藤城村長様はじめ、地域づくり推進課長、子育て支援課長、議会事務局長のあたたかいお迎えをしていただき、約二時間あまり研修をさせていただきました。

まず最も関心のある人口増加対策についてですが、南箕輪村は移住者の割合、実に七十三・三%。日本全国人口減少が進む中、令和三年四年は長野県でも人口の減少率が低く、人口が増えていることに驚かされました。これは、この村を含むこの地域に働く場所があり、地理的に恵まれた環境が、人口増加に繋がっているのかなあと感じました。

次に子育て支援対策についてですが、保育料の無償化はもとより福祉医療費給付の充実ほか、様々な子育て支援施策が充実されており、なんとこちらも子育て世代の移住者が生活しやすい環境が整っていると感じました。

最後に女性就業泰先について、再就職トータルサポートとして女性の就業お仕事相談ほか、女性を元気に応援するセミナーやイベントも積極的に行われておりました。

南箕輪村役場で感じたことは、女性の職員さんの多さです。今回対応していただいた地域づくり推進課長さん、子育て支援課長さん、女性の方でしたし、女性パワーが地域を元気にするのかなあと思いました。

昼ご飯を食べて、一路東京へ。赤坂のホテルで宿泊し、三十一日は、四区選出の総務大臣政務官長谷川衆議院議員の事務所へ。

その後、我が国の最高決議機関国会議事堂視察研修。昭和十一年に建設。当時の日本の技術を結集して、建てられたと伺いました。が、当時の日本では出来ない物が、議事堂内の郵便ポスト、ドアノブ、ステンドグラスは海外からの物を使用していました。いずれにしても、戦災にも合わず八十七年間、堂々と立っているたたずまいは、感動ものでした。

結びに、南箕輪村、国会議事堂の研修を終えて、改めて、時代の流れの厳しさ、衣食住生活環境の大切さを痛感しました。

今研修で得られた経験を、今後の本町のまちづくりに生かしたいと思っております。

## 委員会(協議会)報告

月 日	委員会(協議会)	概 要
11月30日	議会運営	第75回定例会の運営について
	観光事業対策	1. 伊方町健康交流施設亀ヶ池温泉の管理運営について 2. 伊方町温泉施設条例の一部を改正する条例制定について 3. 観光事業対策について
12月6日	議員全員	1. 物価高騰対応重点支援事業について 2. 瀬戸在宅高齢者共同生活支援施設指定管理者の再制定について 3. 瀬戸支所宿日直業務の廃止について 4. 伊方町学校再編計画(第二次)の策定について 5. 町有施設の有効活用に関する提案状況について 6. 空き家の解体にかかる補助制度の見直しについて 7. 定住促進奨励金の拡充について 8. 愛媛県市町総合事務組合規約の変更及び共同処理事務構成団体からの脱退に伴う財産処分について 9. 条例制定等について 10. 令和5年度伊方町一般会計補正予算(第6号)概要
12月21日	議会改革	議員のなり手不足への対応について
1月24日	議員全員	1. 強い農業づくり関係事業補助金(JAにしようわ広域選果場新築工事)について 2. 瀬戸アグリトピア宿泊棟の改修について 3. 障害児通所支援施設整備運営事業者の決定について 4. 令和5年度伊方町一般会計補正予算(第7号)概要 5. 物価高騰対応重点支援事業について 6. 瀬戸球場の活用提案について

## 議長の動き(主な内容)

- 11月10日～11日 原発役員会(東京都)
- 11月13日～15日 第57回部落解放全国研究集会(和歌山県)
- 11月20日 県後期高齢者医療広域連合議会第3回定例会(松山市)
- 11月22日～23日 全国原子力発電所所在市町村協議会 全体会議(東京都)
- 11月24日～26日 第74回全国人権・同和教育研究大会(兵庫県)
- 11月28日～29日 議長会全国大会・視察研修(東京都)
- 12月25日 八幡浜地区施設事務組合(八幡浜市)
- 令和6年 1月 3日 令和6年はたちを祝う会
- 1月19日～20日 関東伊方ふるさと会(東京都)
- 1月30日 県町村議会議長会第3回全員協議会(松山市)



# はたちを祝う会

伊方議会だより

伊方地域



3月号  
Vol.75



瀬戸地域

◆ ◆  
電 発  
話 行  
0894-380-2662  
愛媛県伊方町議会

◆ ◆  
住 編  
所 集  
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1993番地1  
議会だより編集委員会

三崎地域

